

2018年3月期 第1四半期決算説明資料

2017年 8月 2日

喜びを創り喜びを提供する



<http://www.kotobukispirits.co.jp/>

証券コード 2222



- 2018年3月期 第1四半期決算概要 P 1～13
- 2018年3月期 通期業績予想 P 14～18
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 19～39
- 株式の状況・株主還元 P 40～42
- 参考情報 P 43～53

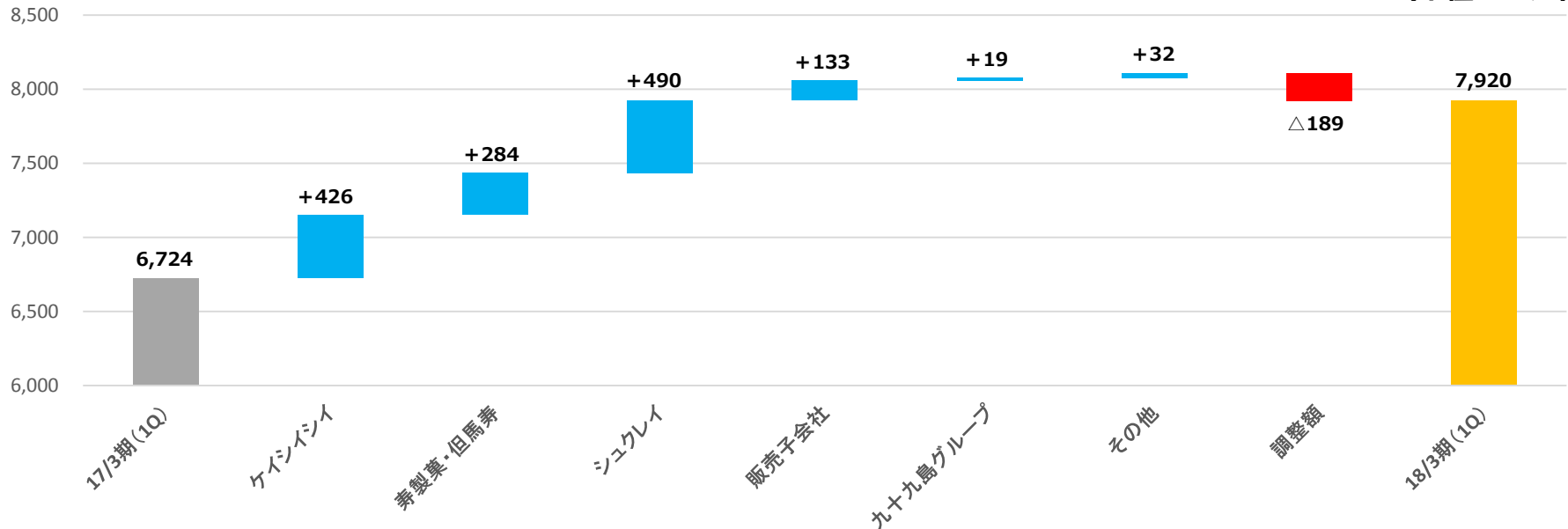
2018年3月期
第1四半期決算概要

2018年3月期 第1四半期の業績ハイライト

- 売上高が前年同期比17.8%増、経常利益が同43.1%増の増収増益となり、ともに四半期ベースで**過去最高を更新**。
- シュクレイの営業利益が前年同期比132百万円増、**グループ再編効果により収益性が改善**。
- 国際線ターミナルでの販売強化が奏功し、インバウンド売上が、前年同期に対し**2倍の伸長**。
- 純利益は、繰延税金資産の追加計上などの特殊要因により前年同期比196.5%増の大幅増益。四半期ベースで**過去最高を更新**。

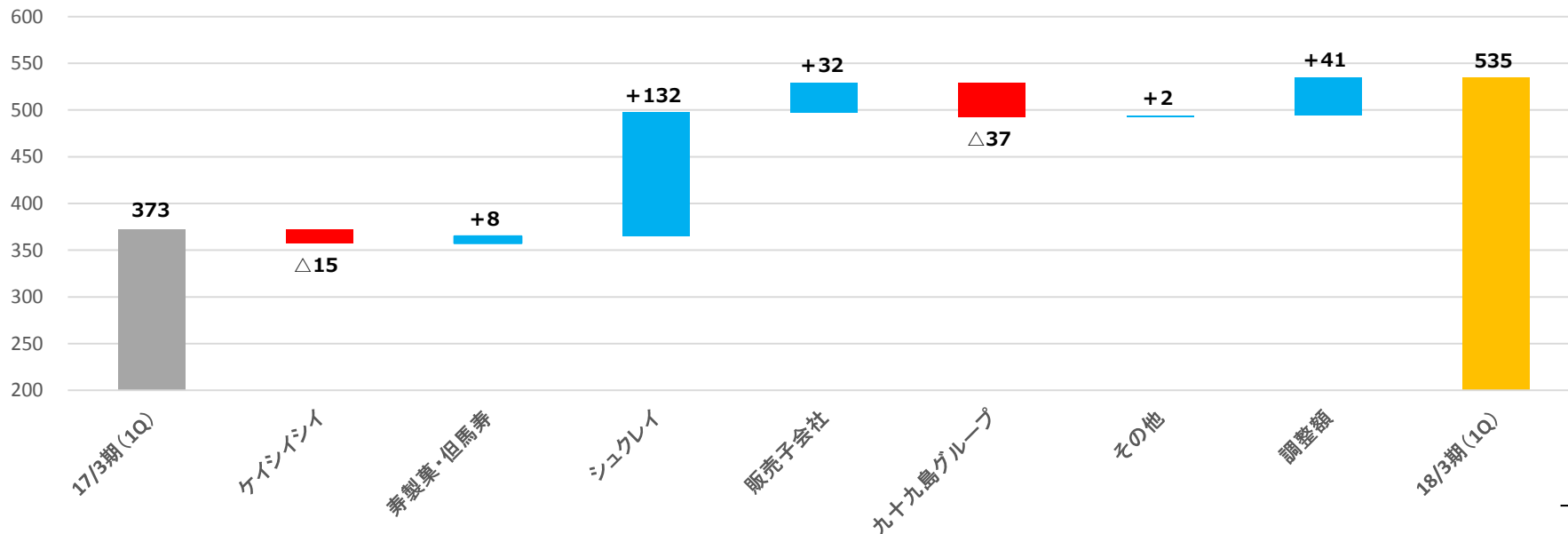
【売上高】2018年3月期 第1四半期業績の前年同期比増減分析

(単位：百万円)



【営業利益】2018年3月期 第1四半期業績の前年同期比増減分析

(単位：百万円)



重点施策の成果①

・インバウンド対策の強化

【インバウンド売上高】

(単位：百万円)

前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
376	766	+390	+103.7%



LeTAO 関西国際空港 リロケーション催事

東京ミルクチーズ工場 成田空港

重点施策の成果②

・海外展開

【海外売上高】

(単位：百万円)

前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
146	262	+116	+79.3%



LeTAO 香港 IFCモール店



LeTAO 韓国 アクション店



TOKYO MILK CHEESE FACTORY
韓国 カロスギル店



重点施策の成果③

・首都圏でのWSR化展開の推進

【シュクレイ売上高】

(単位：百万円)

前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
1,749	2,239	+490	+28.0%

(注)前第1四半期の売上高は、(株)フランセが含まれている。



シュクレイの売上高(前年比較)

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減	増減比
店舗	982	1,154	173	17.5%
催事	209	319	110	52.7%
通販	31	35	4	13.4%
卸売	527	706	179	33.9%
グループ間 内部売上	-	25	25	-
合計	1,749	2,239	490	28.0%

シュクレイ Butter Butler バターフィナンシェ
JR東日本おみやげグランプリ 総合グランプリを獲得

2018年3月期 第1四半期業績(対前年同期)

売上総利益率 対前年同期比0.2ポイント増加

(百万円、%)	前第1四半期 (16年4月～6月)		当第1四半期 (17年4月～6月)		対前年同期		(参考)前期 (16年4月～17年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	6,724	—	7,920	—	1,195	17.8	32,536	—
売上総利益	3,650	54.3	4,316	54.5	666	18.3	18,214	56.0
販売管理費	3,277	48.7	3,781	47.7	504	15.4	14,367	44.2
営業利益	373	5.5	535	6.8	162	43.6	3,847	11.8
経常利益	383	5.7	548	6.9	165	43.1	3,898	12.0
四半期(当期)純利益※	186	2.8	553	7.0	367	196.5	2,572	7.9
EPS(円)	5.99		17.77		11.78		82.66	

※ 四半期(当期)純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

● 当第1四半期の四半期純利益が大幅な増益となった要因は、固定資産売却益の特別利益計上(75百万円)及び税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の追加計上(150百万円)により税金費用が減少したことなどによるものです。

販売管理費・営業利益

販売管理費対売上比率 対前年同期比1.0ポイント減少

(百万円、%)	前第1四半期		当第1四半期		対前年同期		(参考)前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	3,650	54.3	4,316	54.5	666	18.3	18,214	56.0
人件費	1,452	21.6	1,675	21.2	223	15.4	6,014	18.5
販売促進費	551	8.2	681	8.6	130	23.6	2,587	8.0
運賃	244	3.6	262	3.3	18	7.5	1,115	3.4
広告宣伝費	58	0.9	65	0.8	7	12.1	250	0.8
地代家賃	366	5.4	440	5.6	74	20.3	1,761	5.4
減価償却費	81	1.2	77	1.0	△ 4	△ 4.8	364	1.1
旅費交通費	110	1.6	138	1.7	28	25.2	500	1.5
その他	415	6.2	443	5.6	27	6.6	1,774	5.5
販売管理費	3,277	48.7	3,781	47.7	504	15.4	14,367	44.2
営業利益	373	5.5	535	6.8	162	43.6	3,847	11.8

●人件費の増加は、販売強化に向けた人員増及び社員旅行90百万円(前1Qは無し)などによるもの。

2018年3月期 第1四半期業績(セグメント別)

製造メーカーとして始動したシュクレイが業績を牽引

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第1Q	当第1Q	増減額	増減率	前第1Q	当第1Q	増減額
ケイセイシイ	2,004	2,431	426	21.3	156	141	△ 15
寿製菓・但馬寿	2,172	2,456	284	13.1	175	183	8
シュクレイ	1,749	2,239	490	28.0	△ 29	104	132
販売子会社	1,150	1,283	133	11.6	54	86	32
九十九島グループ	747	766	19	2.6	△ 41	△ 78	△ 37
その他	61	93	32	52.4	△ 13	△ 11	2
セグメント計	7,884	9,268	1,384	17.6	302	424	122
調整額	△ 1,159	△ 1,348	△ 189	16.3	70	111	41
合計	6,724	7,920	1,195	17.8	373	535	162

※従来、独立セグメントとしていた「フランセ」は、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、「シュクレイ」に統合。
前第1四半期との比較は、変更後の区分変更により作成した数値を使用しております。

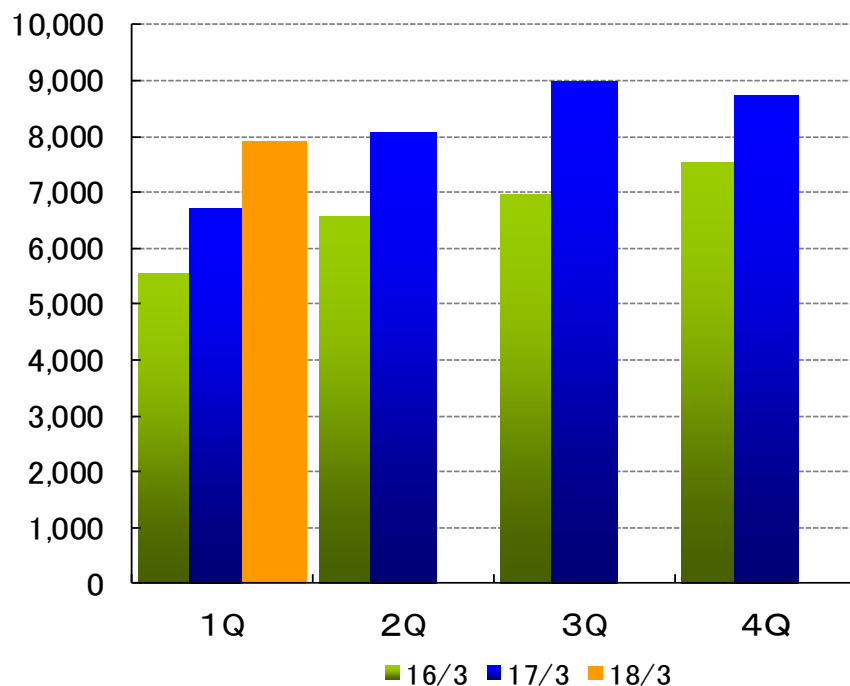
第1四半期 主要セグメントの状況

ケイシイシイ	国際線ターミナルにおいて専用什器展開を推進したほか、母の日及び周年祭など季節イベントでの販促強化を行なった。売上構成の変化などにより売上総利益率が前年同期に対し1.9ポイント減少したことに加え、人件費及び物流費が増加し、増収・減益。
寿製菓・但馬寿	グループ会社及び代理店向けの製品供給の拡大に向け、「サンドクッキー」ラインの新設など製造ラインの拡充。山陰地区では発売50周年を迎えた名菓「因幡の白うさぎ」の販売強化に注力し、増収・増益。
シュクレイ	統合メリットを最大限発揮させるべく組織体制の見直しを実施。営業面では新体制による直営店の人員の再配置及びサポート体制の充実を図り、生産面では、自社ブランド商品の一部を寿製菓及びケイシイシイから自社工場での生産に切り替えを行うなど増産体制の確立し、増収・増益
販売子会社	駅、空港、SA・PAなど交通拠点チャネルを中心に、専用什器によるコーナー化展開を推進し、主力商品及び新商品の拡販などに注力し、増収・増益。
九十九島グループ	フレンチトースト専門店「Ivorish(アイボリッシュ)」は、認知度向上を図るため首都圏を中心に期間限定店舗展開を推進。長崎・佐世保地区は、主力商品「九十九島せんぺい」の販売強化などにより回復基調にあるものの、福岡地区では、福岡空港改装に伴う売場縮小などにより低迷し、増収・減益。

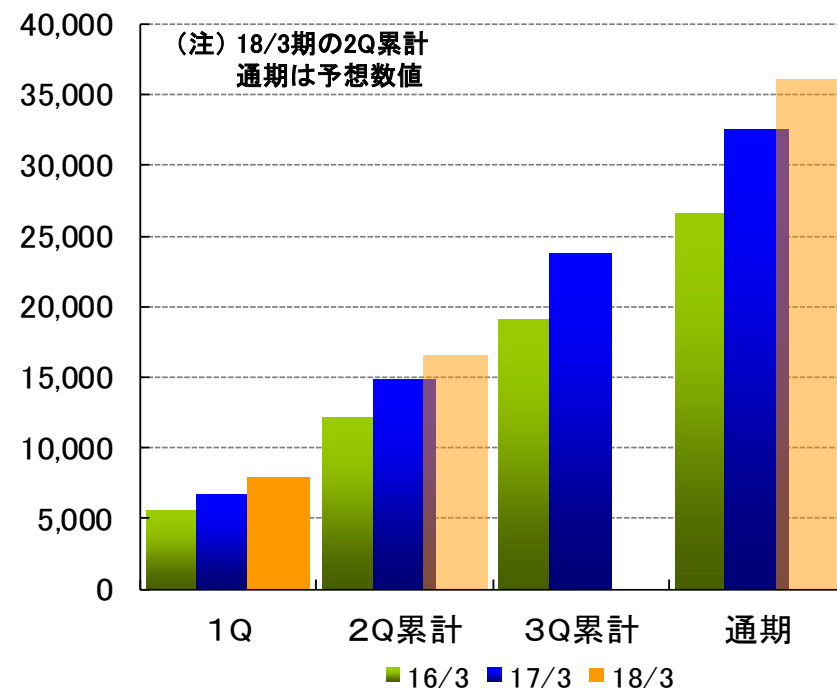
四半期業績の推移(売上高)

2Q累計予想に対する進捗率は48.1%

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



(百万円) 累計期間売上高の3期間比較

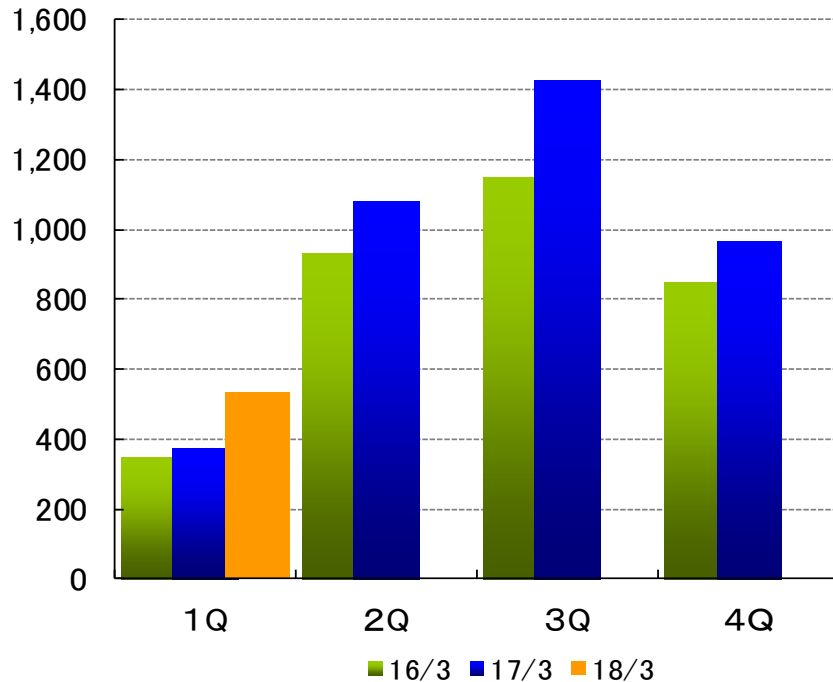


(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
16/3	5,542	6,569	6,968	7,534	5,542	12,111	19,078	26,612
17/3	6,724	8,077	8,984	8,751	6,724	14,801	23,785	32,536
18/3	7,920	-	-	-	7,920	16,480	-	36,000
増減率	17.8%	-	-	-	17.8%	11.3%	-	10.6%

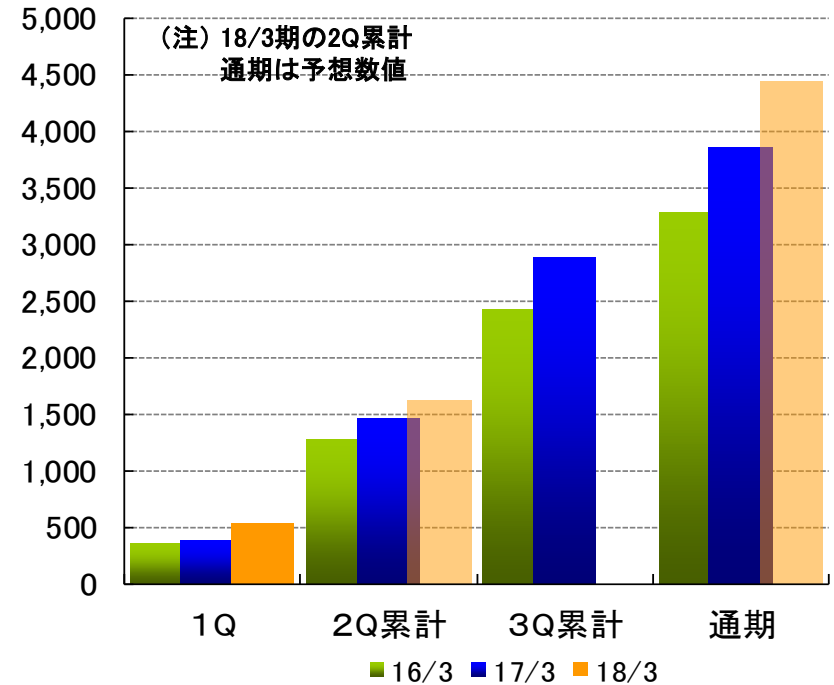
四半期業績の推移(営業利益)

2Q累計予想に対する進捗率は32.8%

(百万円) 会計期間営業利益の3期間比較



(百万円) 累計期間営業利益の3期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
16/3	350	931	1,148	848	350	1,280	2,429	3,277
17/3	373	1,080	1,430	965	373	1,453	2,882	3,847
18/3	535	-	-	-	535	1,630	-	4,450
増減率	43.6%	-	-	-	43.6%	12.2%	-	15.7%

貸借対照表

自己資本比率 前期末比2.2ポイント増加

(百万円、%)	16年3月期		17年3月期		18年3月期1Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	8,517	47.5	9,455	48.5	8,447	45.6	△ 1,008	△ 10.7
固定資産	9,420	52.5	10,045	51.5	10,083	54.4	38	0.4
資産合計	17,937	100.0	19,500	100.0	18,530	100.0	△ 970	△ 5.0
流動負債	4,819	26.9	4,727	24.2	4,025	21.7	△ 702	△ 14.8
固定負債	2,346	13.1	2,039	10.5	1,995	10.8	△ 44	△ 2.2
負債合計	7,165	39.9	6,766	34.7	6,020	32.5	△ 746	△ 11.0
純資産	10,772	60.1	12,734	65.3	12,510	67.5	△ 224	△ 1.8
負債純資産合計	17,937	100.0	19,500	100.0	18,530	100.0	△ 970	△ 5.0
BPS(円)※	346.14		409.20		401.99		△ 7.21	△ 1.8

※ 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。
2016年3月期のBPS数値につきましては2016年3月期期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。



2018年3月期 通期業績予想

(通期業績予想は2017年5月15日付で公表した期初予想からの変更はありません。)

2018年3月期 通期業績予想のポイント

● 予想スタンス

消費者の選別の目は一層厳しさを増し、消費行動も多様化する中で、業種、業態を超えた競争がますます激化してくる厳しい環境が予想される中、引き続き、重点施策を中心とした取り組み強化により、増収・増益を予想。

● 売上高

売上高の予想増収率は、10.6%増。(前期の売上高増収率は、フランセの連結化による影響を除けば、11.9%増。)

● 子会社間合併の影響

子会社間合併に伴いフランセは、セグメントを「シュクレイ」に統合。シュクレイは、寿スピリッツ(株)に支払う経営指導料の料率変更によるコスト増が発生(約101百万円増加、連結上相殺される)。上期に横浜工場にラインを新設し、グループの製造拠点(ケイシイシイ、寿製菓)から製品供給されていた主力商品を、自社工場生産に切り替えを予定(4月から順次)。

● 税金費用

税金費用は、子会社間合併に伴い、税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の追加計上(約150百万円)により税金費用が同額減少。

● 設備投資・減価償却

設備投資計画は、製造設備の合理化、増産に向けた新設・更新を中心に1,200百万円を予想、減価償却費予想は1,050百万円。

2018年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高**36,000**百万円(前期比**+10.6%**)、経常利益**4,500**百万円(同**+15.4%**)
純利益**3,150**百万円(同**+22.4%**)

(百万円、%)	17年3月期		18年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	32,536	-	36,000	-	3,464	10.6
売上総利益	18,214	56.0	20,300	56.4	2,086	11.5
販売管理費	14,367	44.2	15,850	44.0	1,483	10.3
営業利益	3,847	11.8	4,450	12.4	603	15.7
経常利益	3,898	12.0	4,500	12.5	602	15.4
純利益	2,572	7.9	3,150	8.8	578	22.4
EPS(円)	82.66		101.22		18.56	22.5
1株当たり配当金(円)	25.00		30.00		5.00	20.0
設備投資	1,472		1,200		△ 272	△ 18.5
減価償却費	879		1,050		171	19.4

2018年3月期 通期業績予想(セグメント別)

シュクレイがフランセとの合併により、生産直販型会社に移行、更なる成長を目指す!

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	17/3月期	18/3月期予	増減額	増減率	17/3月期	18/3月期予	増減額
ケイシイシイ	10,376	10,900	524	5.1	1,446	1,570	124
寿製菓・但馬寿	9,635	10,020	385	4.0	1,065	1,080	15
シュクレイ※	9,275	10,770	1,495	16.1	611	800	189
販売子会社	5,120	5,370	250	4.9	377	423	46
九十九島グループ	3,287	3,430	143	4.3	△ 131	△ 90	41
その他	278	350	72	25.9	△ 75	△ 25	50
セグメント計	37,971	40,840	2,869	7.6	3,293	3,758	465
調整額	△ 5,435	△ 4,840	595	△ 10.9	554	692	138
合計	32,536	36,000	3,464	10.6	3,847	4,450	603

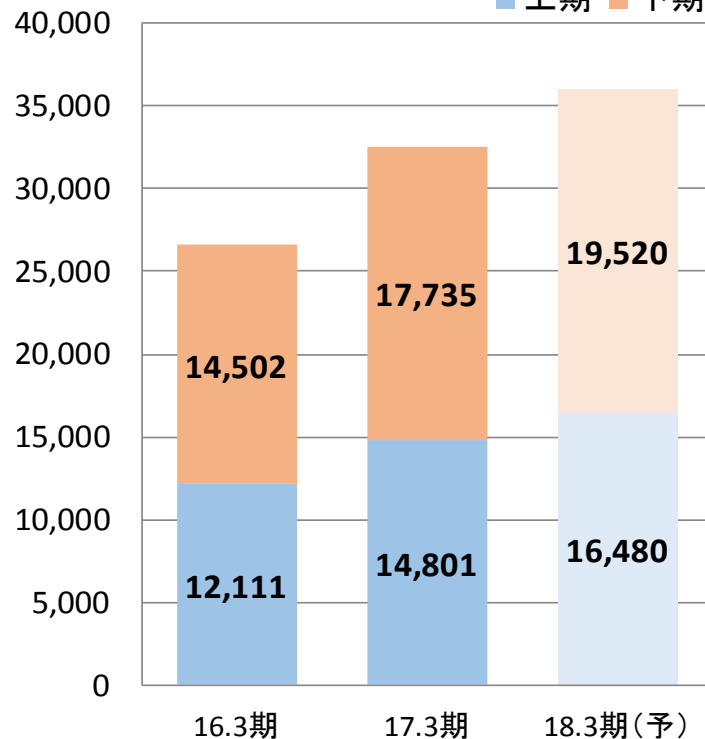
※従来、独立セグメントとしていたフランセは、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、シュクレイに統合。17/3月期実績は、当該報告セグメント区分に基づき組替えた数値を使用しております。

2018年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)

(百万円)

売上高

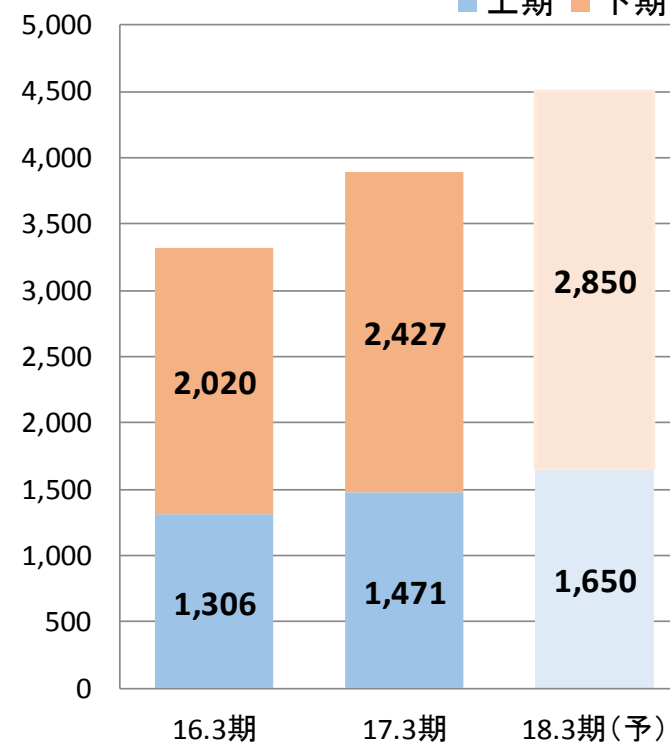
■ 上期 ■ 下期



(百万円)

経常利益

■ 上期 ■ 下期



(単位:百万円)

	売上高						経常利益					
	16.3期	構成比	17.3期	構成比	18.3期(予)	構成比	16.3期	構成比	17.3期	構成比	18.3期(予)	構成比
上期	12,111	45.5%	14,801	45.5%	16,480	45.8%	1,306	39.3%	1,471	37.7%	1,650	36.7%
下期	14,502	54.5%	17,735	54.5%	19,520	54.2%	2,020	60.7%	2,427	62.3%	2,850	63.3%
通期	26,612	100.0%	32,536	100.0%	36,000	100.0%	3,326	100.0%	3,898	100.0%	4,500	100.0%



今後の経営方針とセグメント別業績の概況

ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

「お菓子の総合プロデューサー」

General Producer of the Sweets

●「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進

●地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

今後の経営方針

2017年経営スローガン

WSR!WSR!!
WSR!WSR!!
WSR!WSR!!

WSR ワールド サプライジング リゾート宣言
ワールド(W) **世界へ**
サプライジング(S) **ありえないほどの驚きの**
リゾート(R) **非日常(超感動)**を提供する

実践項目

超現場主義 (プロフィット部門中心の経営)
商品力、販売力・営業力、売場力のレベルアップ

目標指標

売上高経常利益率 20%

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

重点施策

①インバウンド対策の強化

- ・寿スピリッツ流営業の推進により、国際線ターミナルでの催事・常設売場拡大に注力
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



LeTAO 関西国際空港 外国語接客・販売



東京ミルクチーズ工場 成田空港
多言語表示ディスプレイ

重点施策

②海外展開 (海外における事業モデルの構築)

・グローバルブランドとしてアジアでの店舗出店を加速させる



TOKYO MILK CHEESE FACTORY フィリピン Green Belt店



LeTAO 韓国 スターフィールドハナム店

重点施策

③首都圏でのWSR化展開の推進

- ・シュクレイ 多ブランド展開の更なる推進 関東主要SA・PAなど販路拡大
- ・グループ各社による期間限定店舗展開の推進



グループ再編により首都圏での経営基盤を強化 (連結子会社間での吸収合併)

2017年4月1日付けで、株式会社シュクレイと株式会社フランセとの吸収合併を実施

合併メリット

①首都圏展開における競争力の強化

⇒生産直販会社への移行により、会社の信用力、ブランド価値の向上

②経営資源の集約による経営効率の向上

⇒シュクレイのブランディングノウハウの活用

③グループ製造キャパシティの増加による増産体制の構築



重点施策

④プレミアム・ギフトスイーツの創造と育成

・美味しさの追求と、少チャンネル・多用途のプレミアム・ギフトスイーツの開発推進

NIKKEI
プラス1

アイスクーキ
ランキング
第1位

Ballon de
Fruits

パルーン ド フリュイ



重点施策数値目標

(単位：百万円)

	実績 16年3月期	実績 17年3月期	目標数値 18年3月期
インバウンド売上	810	1,960	2,500
海外売上	550	778	1,200
シュクレイ売上	4,735	9,275	10,770

インバウンド売上…国内主要国際空港での売上

海外売上…台湾（現地法人売上）、韓国・香港及びその他の国は国内出荷売上（ロイヤルティ含む）

シュクレイ売上…シュクレイとフランセの合併に伴い、首都圏売上の開示をシュクレイの売上開示に変更

シュクレイの売上はインバウンド及び海外売上も含まれている

16年3月期、17年3月期の実績数値についてはフランセの売上が含まれている

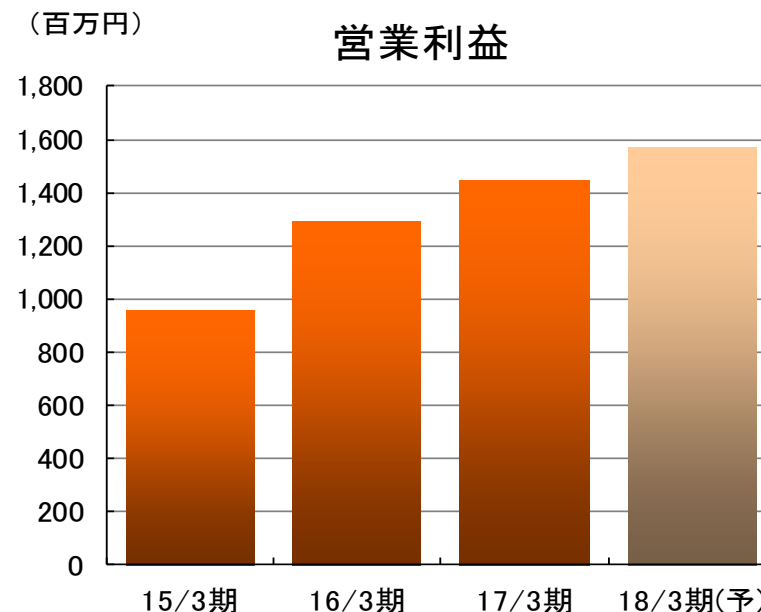
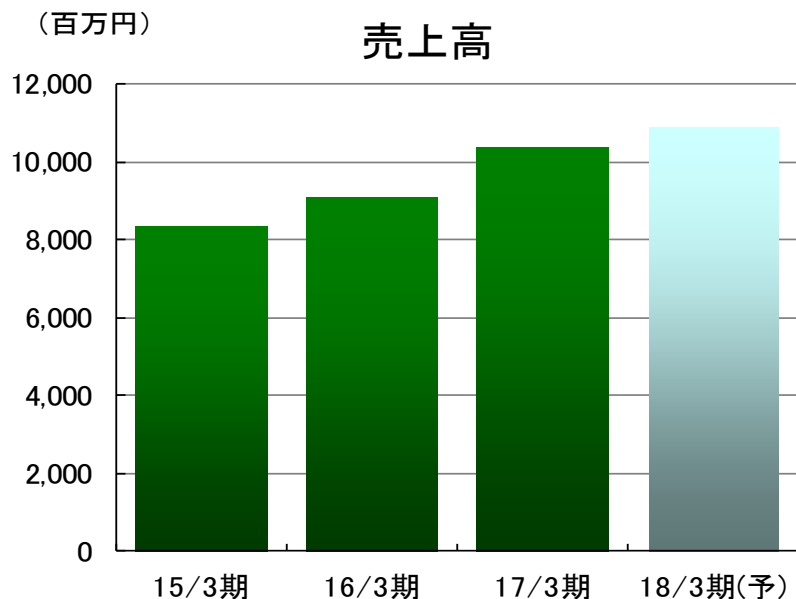
セグメント別概況



- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- シュクレイ
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他

《ケイシイシイ》

当期予想:売上高 **10,900**百万円(前期比**+5.1%**)営業利益 **1,570**百万円(同**+8.6%**)



ケイシイシイ

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,331	9,095	10,376	1,281	14.1	10,900	524	5.1
売上総利益	4,947	5,535	6,280	745	13.5	6,704	424	6.8
粗利率	59.4	60.9	60.5	△ 0.3		61.5	1.0	
販売管理費	3,991	4,245	4,834	589	13.9	5,134	300	6.2
営業利益	957	1,290	1,446	156	12.1	1,570	124	8.6



《ケイシイシイ》

LeTAO × イベント × WSRを推進

・特別なイベントへ向けた商品開発・販売展開を強化



Halloween



Easter



Valentine's Day



Christmas



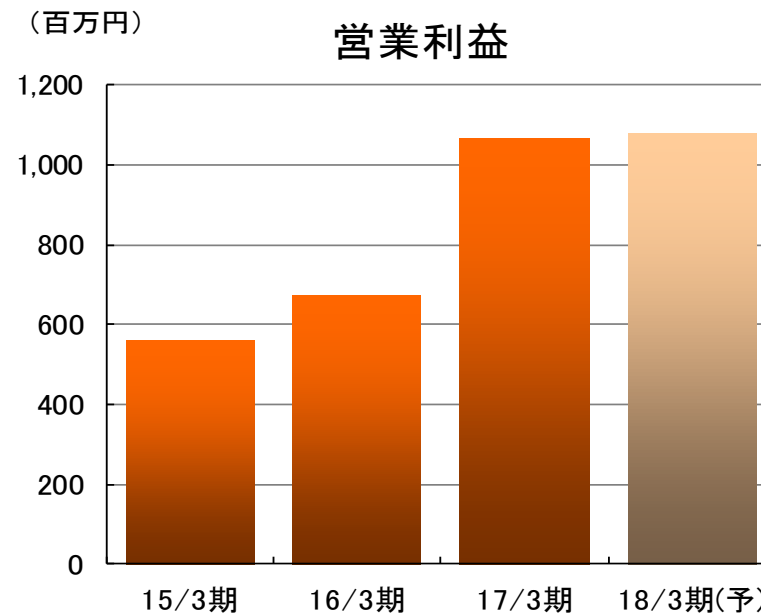
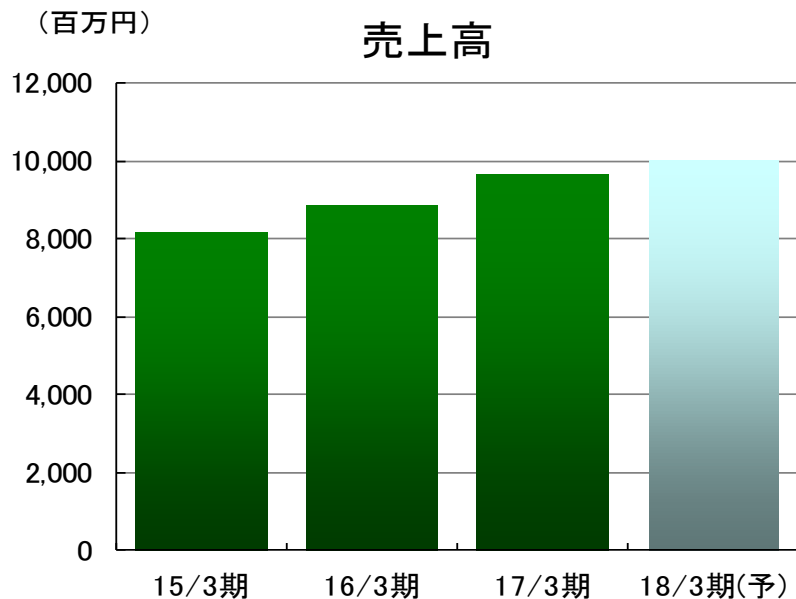
父の日



母の日

《寿製菓・但馬寿》

当期予想:売上高 **10,020**百万円(前期比**+4.0%**)営業利益 **1,080**百万円(同**+1.4%**)



寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	8,140	8,867	9,635	768	8.7	10,020	385	4.0
売上総利益	2,976	3,328	3,748	420	12.6	3,948	200	5.3
粗利率	36.6	37.5	38.9	1.4		39.4	0.5	
販売管理費	2,417	2,657	2,682	26	1.0	2,868	186	6.9
営業利益	560	671	1,065	394	58.7	1,080	15	1.4



《寿製菓・但馬寿》

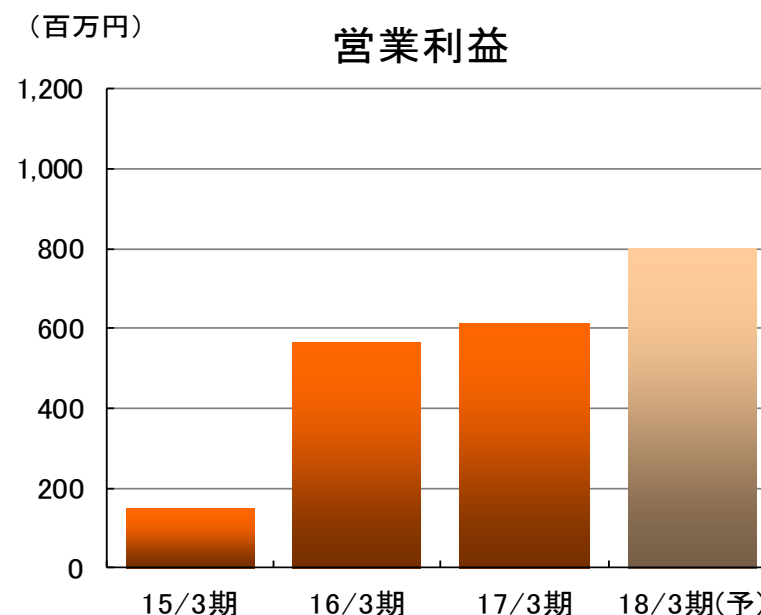
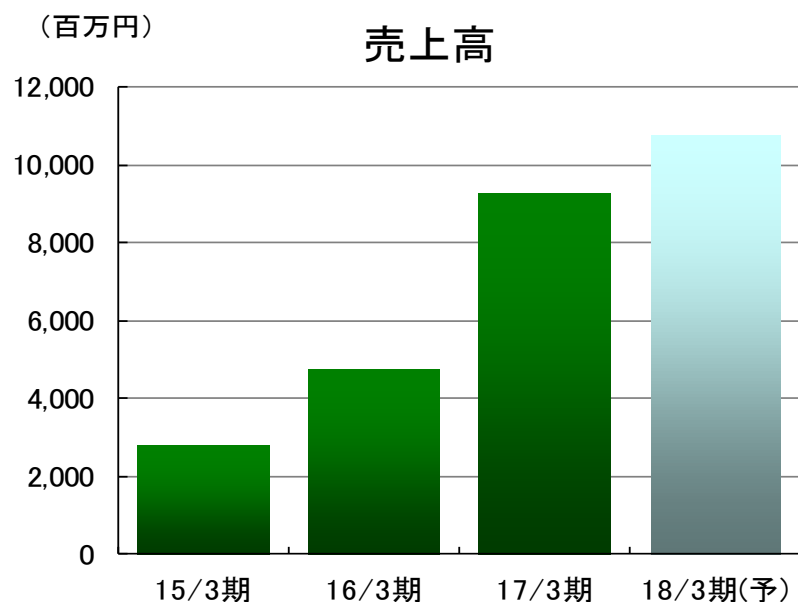
重点対策：新商品開発・主力商品強化・販路開拓

- ・発売50周年を迎える因幡の白うさぎの更なるシェア拡大
- ・グループ会社・代理店との連携を強化
- ・新ライン増設による生産力のバージョンアップ



《シュクレイ》

当期予想:売上高 **10,770**百万円(前期比**+16.1%**)営業利益 **800**百万円(同**+30.9%**)



シュクレイ

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	2,795	4,735	9,275	4,540	95.9	10,770	1,495	16.1
売上総利益	1,537	2,667	4,990	2,323	87.1	6,185	1,195	23.9
粗利率	55.0	56.3	53.8	△ 2.5		57.4	3.6	
販売管理費	1,388	2,102	4,379	2,277	108.3	5,385	1,006	23.0
営業利益	149	565	611	46	8.2	800	189	30.9

※従来、独立セグメントとしていたフランセは、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、シュクレイに統合。
16/3期及び17/3期実績は、当該報告セグメント区分に基づき組替えた数値を使用しております。



《シュクレイ》

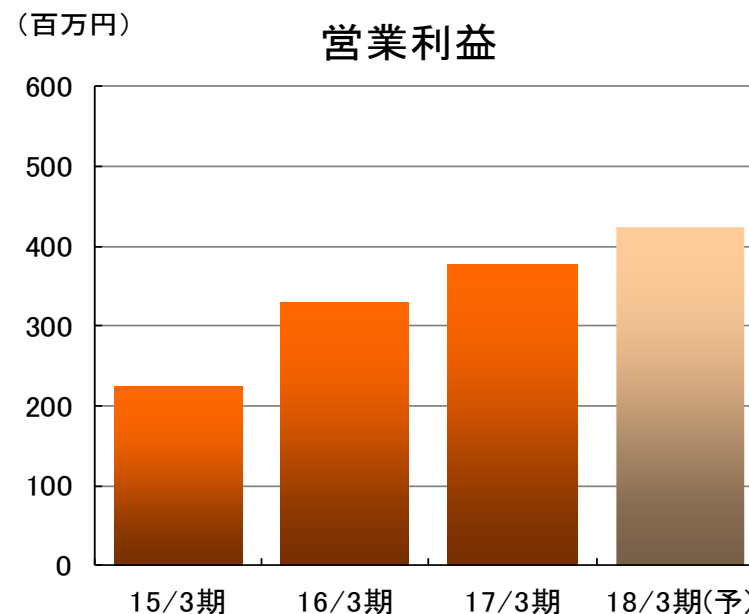
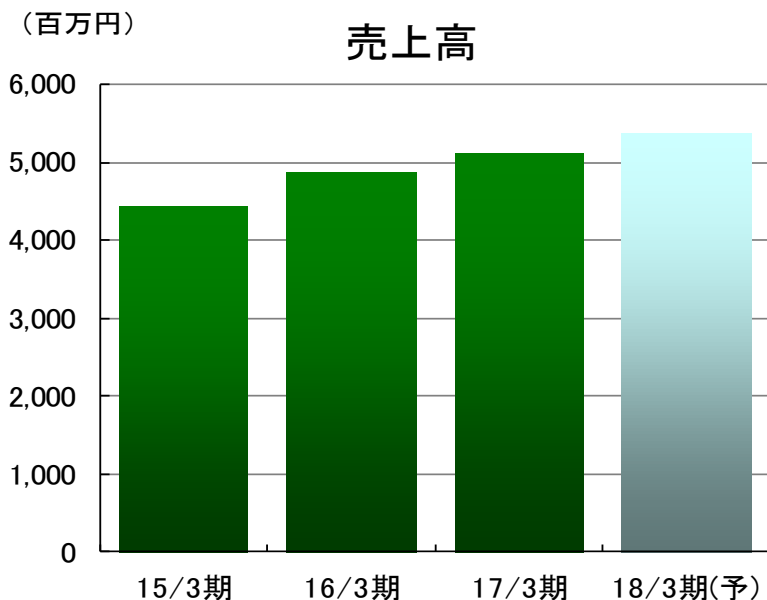
唯一無二のブランド価値創造を目指す

- ・商品力、販売力・営業力、売場力を徹底強化
- ・既存店舗、催事、駅、空港卸のチャネルで季節イベント・インバウンド対策を推進



《販売子会社》

当期予想:売上高 **5,370**百万円(前期比**+4.9%**)営業利益 **423**百万円(同**+12.3%**)



販売子会社

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	4,434	4,868	5,120	252	5.2	5,370	250	4.9
売上総利益	1,355	1,550	1,706	156	10.1	1,813	107	6.3
粗利率	30.6	31.8	33.3	1.5		33.8	0.4	
販売管理費	1,130	1,221	1,329	109	8.9	1,390	61	4.6
営業利益	225	330	377	47	14.3	423	46	12.3

《販売子会社》

交通拠点チャネル(駅・空港・SA)での展開強化

- ・美味しさと品質に徹底的にこだわった主力商品の更なる売上増大を目指す



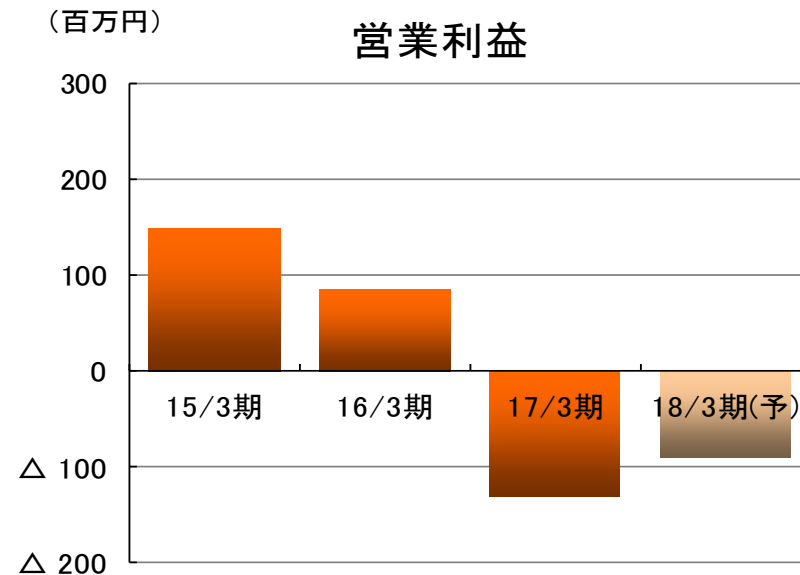
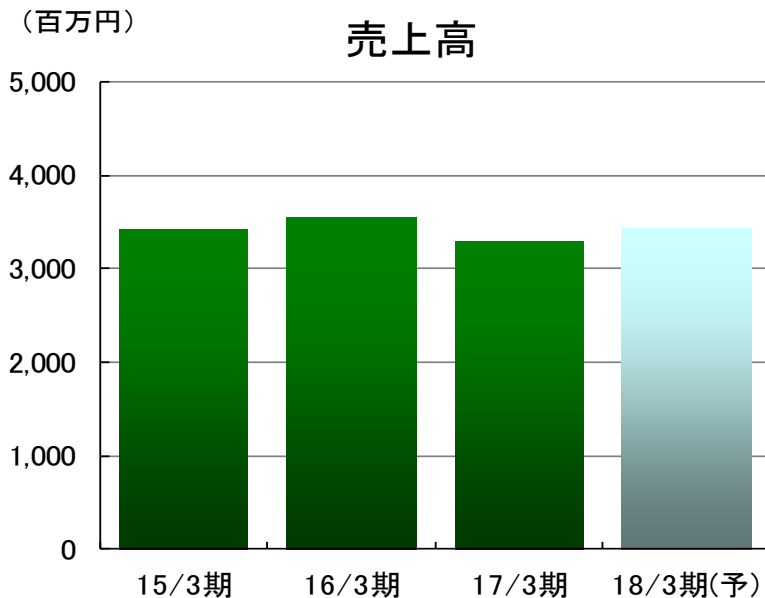
KYOTO VENETO 京都抹茶ロールケーキ



まっかな苺のラングドシャ

《九十九島グループ》

当期予想:売上高 **3,430**百万円(前期比 **+4.3%**) 営業損失 **90**百万円(前期は営業損失131百万円)



九十九島グループ

(百万円,%)	15/3期	16/3期	17/3期	対前期		18/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,409	3,554	3,287	△ 267	△ 7.5	3,430	143	4.3
売上総利益	1,432	1,525	1,389	△ 136	△ 8.9	1,490	101	7.3
粗利率	42.0	42.9	42.2	△ 0.7		43.4	1.2	
販売管理費	1,283	1,440	1,519	80	5.5	1,580	61	4.0
営業利益	149	85	△ 131	△ 216	-	△ 90	41	-

《九十九島グループ》

主力商品の拡販と「Ivorish」首都圏での展開強化により
早期回復を目指す



九十九島せんぺい
2010年～2017年モンドセレクション
8年連続 最高金賞受賞



ふわわりチーズスフレと
なめらかなチーズカスタードクリーム。
赤い風船一番人気のチーズケーキ。



《その他》

純藍

純藍 事業軌道化に向け、藍の認知度拡大と Web広告通販事業に特化



藍の青汁



うる藍バリア



青のハーブティー

寿製菓株式会社 国立大学法人島根大学との共同研究

平成28年4月28日に藍のポリフェノール(フラボノイド)の物質特許、製法特許およびコレステロール合成に関わる3-ヒドロキシ-3-メチルグルタリル(HMG)-CoA還元酵素阻害剤としての用途特許を取得



株式の状況・株主還元

株式の状況

(2017年3月31日現在)

■発行可能株式総数 **91,200,000株**

(注)2016年4月1日付株式分割[1:3]実施に伴い、60,800,000株増加

■発行済株式総数 **31,121,520株**

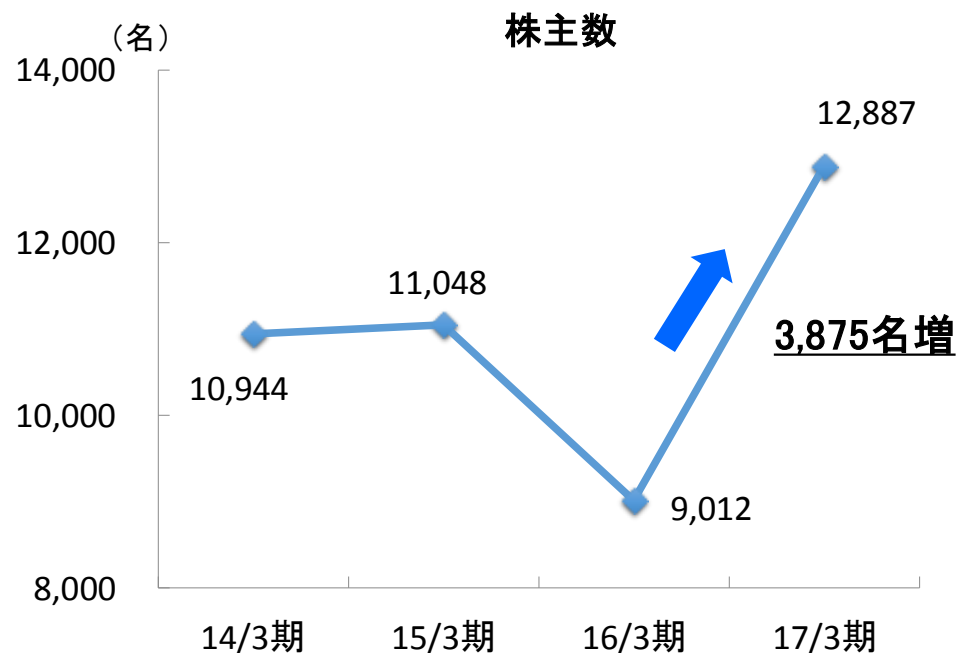
(注)2016年4月1日付株式分割[1:3]実施に伴い、20,747,680株増加

■単元株式数 **100株**

■株主数 **12,887名**

(対前期末比 **3,875名増**)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	991,900	3.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	979,000	3.14
寿スピリッツ従業員持株会	933,077	2.99
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89

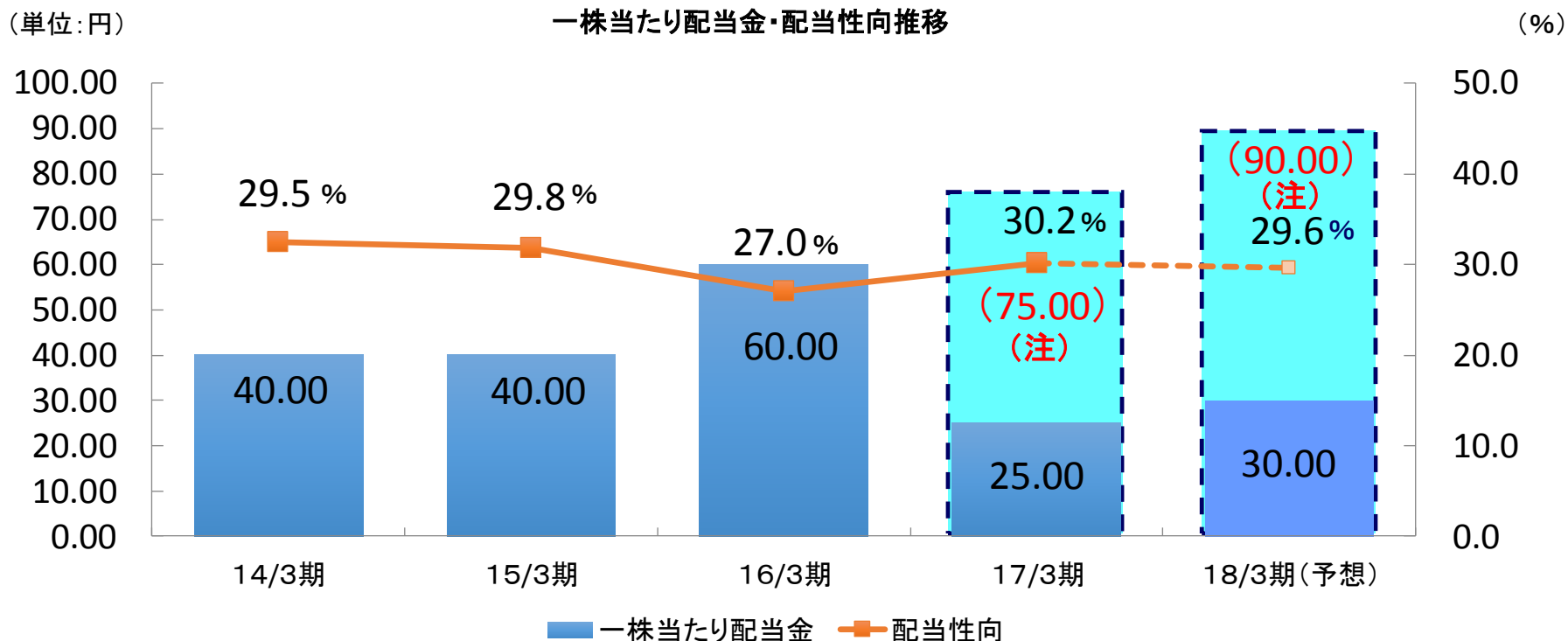
注)出資比率は、自己株式1,625株を除く

株主還元

■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

■ 2018年3月期1株当たり配当金予想 30円 (注)



(注) 当社は2016年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の株式分割を実施しております。17/3期及び18/3期(予想)の一株当たり配当金は分割後の発行済株式数より算出しており、分割前に遡及修正して換算すると17/3期は75円、18/3期(予想)は90円となります。



《参考情報》

会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体9名・連結1,227名
グループ会社	連結子会社18社(国内17社・海外1社)
連結売上高	325億円(2017年3月期)

沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。
北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) 株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。



小樽洋菓子舗ルタオ



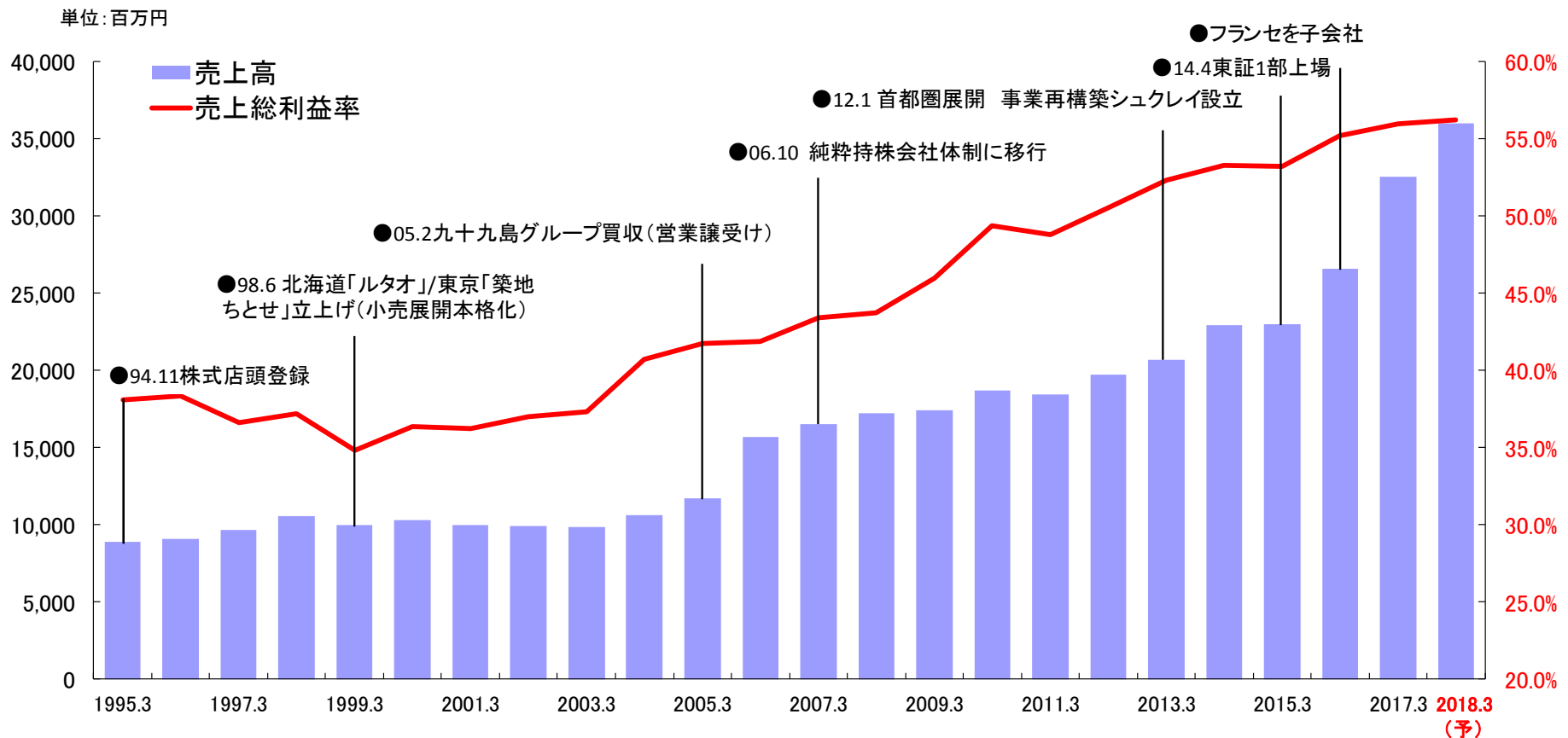
“ドゥーブルフロマージュ”



“九十九島せんぺい”

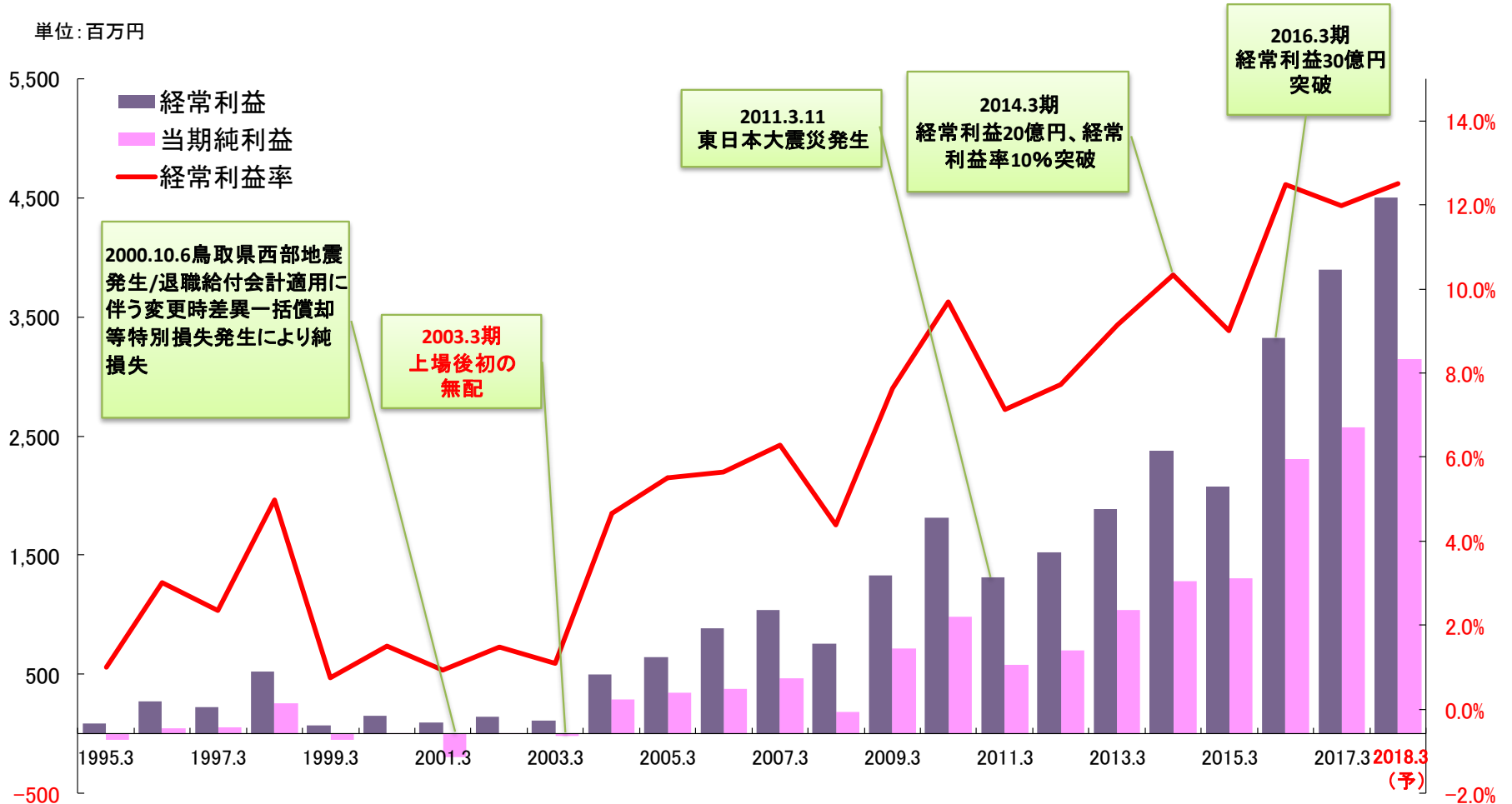
寿スピリッツグループの変遷①

製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進
 組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む



寿スピリッツグループの変遷②

2014.3期 売上高経常利益率10%突破、高い収益性を実現



経営理念・基本ポリシー

経営理念

喜びを創り喜びを提供する

基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



主要ショップブランド



お菓子の **壽城**
(山陰)

遊月亭
(兵庫)



(北海道)

Ivorish

Premium French Toast

(福岡・東京)



Akai Fusen
赤い風船
PÂTISSERIE

(佐世保・福岡)



KONFITOREI KOBE

(神戸)



FRANÇAIS

(横浜)



東京ミルクチーズ工場

(東京)

主力商品一例



Nostalgic Modern.
LeTAO
★Northern Sweets Manner★

「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



お菓子の ことぶきじょう **壽城** 「とち餅」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「九十九島せんべい」



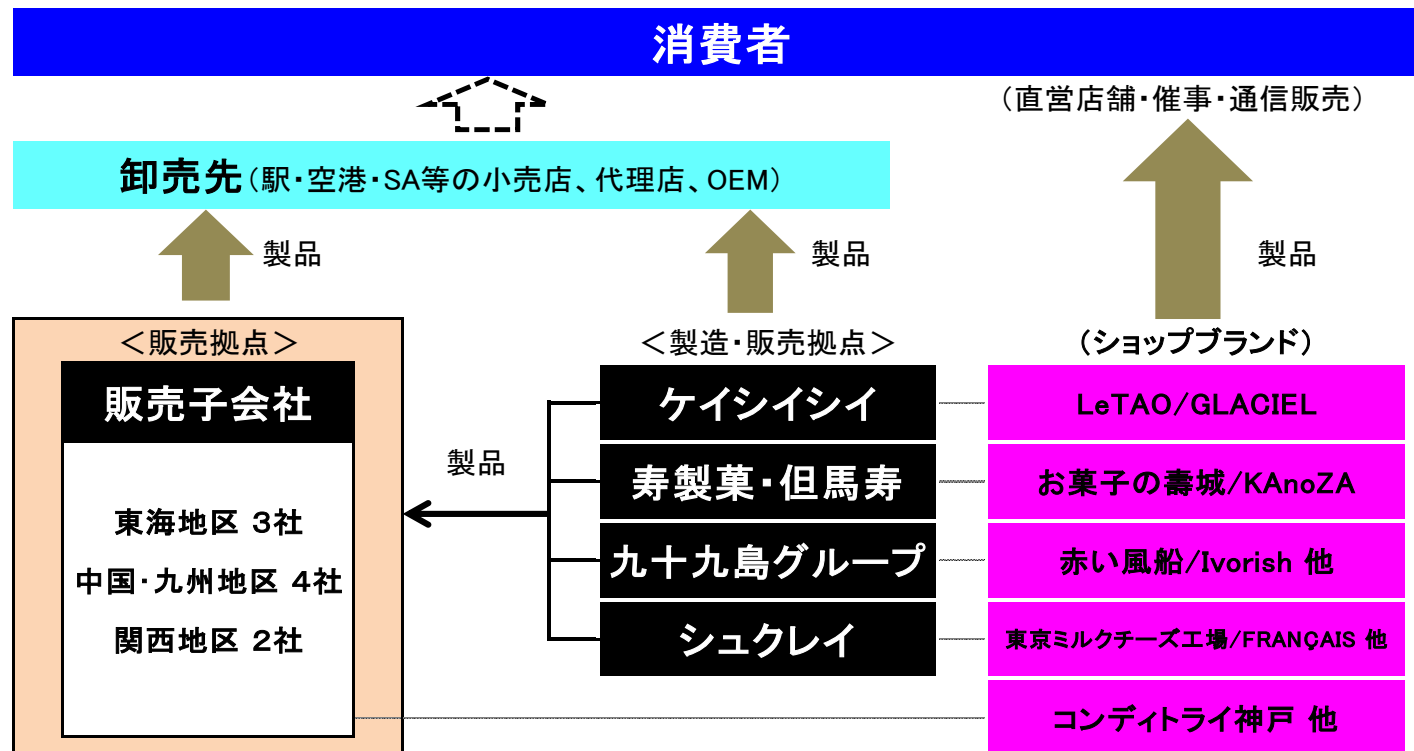
KONDITORE  「神戸クリームチーズケーキ」

事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社17社で構成。
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。